

東国分中学校ブロック

第10回 義務教育学校の設置に関する検討委員会

令和4年3月18日（金）書面開催

【報告事項】

- (1) プロジェクト会議について
- (2) 新しい教科「ふるさと探究科」について
- (3) 小学6年生の中学校の部活動への参加について
- (3) 中学校の教師による、小学6年生の乗り入れ授業（算数）の実施について
- (5) 近隣校との連携について

【添付資料】

○別冊資料

- 資料1 プロジェクト会議だより⑦、⑧
- 資料2 ふるさと探究科 保護者向け周知文書
- 資料3 中学校教員による乗り入れの授業実施に関するアンケート結果

東国分中学校ブロック 第11回義務教育学校の設置に関する検討委員会の予定

○日時：令和4年6月（予定）

○場所：東国分中学校（予定）

○次回報告内容：意識調査の実施結果など

小中一貫教育の効果を検証するため、昨年4月に引き続き、3校の児童生徒、教職員、保護者を対象とした、意識調査を今年の1月から2月に実施しました。昨年と今年の結果を比較した考察につきまして、次回の検討委員会（6月開催予定）でご報告させていただく予定です。

1 報告

(1) プロジェクト会議の概要について（別冊資料1 プロジェクト会議だより⑦、⑧）

前回の検討委員会以降に実施されたプロジェクト会議は、以下の通りとなります。

主に検討してきた内容としては、①新しい教科「ふるさと探究科」について、②部活動について、③中学校の教員による乗り入れ授業について、④近隣小学校との連携についての4点です。詳しくは、「(2) プロジェクト会議での検討内容と取り組みについて」でご説明いたします。

・第7回 プロジェクト会議

日 時	令和3年12月6日（月） 9時30分から11時00分
会 場	市川市立東国分中学校
参 加 者	各小中学校…校長、教頭、教務主任 教育委員会…指導課、学校環境調整課の担当者 オブザーバー…大学教授
内 容	①今年度の取り組みに関する広報紙等への記事の掲載について ②新しい教科「ふるさと探究科」について ③部活動について ④小学6年生を対象とした、東国分中学校校舎での学習の実施について ⑤東国分爽風学園のキャラクター募集について ⑥終業式における3校合同のオンライン集会の実施について

・第8回 プロジェクト会議

日 時	令和4年1月20日（木） 9時30分から11時00分
実施方法	オンライン会議
参 加 者	各小中学校…校長、教頭、教務主任 教育委員会…指導課、学校環境調整課の担当者
内 容	①新しい教科「ふるさと探究科」について ②乗り入れ授業を実施した、小学6年生へのアンケート調査の結果について ③小中の教職員による相互授業の実施について ④近隣小学校との連携について ⑤意識調査の実施について

・第9回 プロジェクト会議（予定）

日 時	令和4年3月22日（火） 9時30分から11時00分
実施方法	オンライン集会
参 加 者	各小中学校…校長、教頭、教務主任 教育委員会…指導課、学校環境調整課の担当者
内 容	①新しい教科「ふるさと探究科」の実施について ②次年度のグランドデザインについて

(2) プロジェクト会議での検討内容と取り組みについて

①新しい教科「ふるさと探究科」について（別冊資料2）



< 3校の各家庭に配付された「ふるさと探究科」の実施に関する案内 >

グランドデザインの柱の1つである「学力向上」の中から、一貫教育の軸となる「新しい教科」の創設に向けて、3校の教務主任の先生方が中心となって検討を重ねてきました。

その結果を踏まえて、新しい教科を「ふるさと探究科」とすることが、本年1月の教育委員会会議において可決され、4月から正式に新しい教科としてスタートすることになりました。

○ふるさと探究科の実施内容について

「ふるさと探究科」は、小学3年生から中学校3年生までが学習している「総合的な学習の時間」の時間を使って実施していきます。

学習内容は、曾谷・稲越・東国分地域の特色ある環境(曾谷貝塚や国分川調整池、道の駅いちかわ等)を学習の素材とし、子どもたちが自ら課題を見つけ、その課題を解決するために探究していく学習を展開していきます。

○スタートに向けた研修の実施について

4月からスタートするにあたり、3校の先生方が共通の認識を持って取り組めるように、教職員向けの研修を2月に実施しました。

研修はオンラインで実施され、教育委員会の指導主事が講義し、探究的な学習をどのように実践していくのかなど、具体的な事例紹介を交えて行われました。

< 研修を終えた先生方の感想 >

○小学校

- ・ふるさと探究科をどのように進めていけばいいのかがイメージできた。
- ・探究的な学習の具体的な内容を聞いて参考になった。

○中学校

- ・中学校では「探究」に重点をおいて実施していきたい。

今後は、3校の教務主任を中心とした先生方で組織する「ふるさと探究科部会（仮称）」を立ち上げ、具体的な授業計画や授業内容についての検討を行い、実施することになりました。

②小学校高学年からの中学校の部活動への参加について

	運動部	文化部
実施部活動	・野球（男子） ・サッカー（男子） ・バレーボール ・バスケットボール ・卓球 ・テニス	・吹奏楽部 ・美術部
対象児童	5・6年生 ※吹奏楽部は4年生から参加可能	
参加形態	希望制	
参加の意思の確認	1年ごとに参加の有無の確認	
参加人数	5・6年を合わせて15～20人 ※5年生の在籍人数 23人 6年生の在籍人数 27人	
実施曜日	月曜日から土曜日 ※月曜日の朝と水曜日の放課後を「ノー部活タイム」とし、合わせて1日の休業日としている	
実施時間	・平日…長くとも2時間程度 ・土日…3時間程度	
終了時刻	・夏季…中学生の終了時間の30分前（18時） ・冬季…中学生の終了時間と同じ（17時）	
大会参加	・中学校の大会には参加できない	

「塩浜学園（義務教育学校）」の例(概要は左記の表のとおり)などを参考に検討しました。

○塩浜学園の取り組み

塩浜学園では、5・6年生の約4割の児童が参加しており、ほぼ中学生と同じように活動しています。

ただし、中学校の公式な試合には出られないとのことでした。

○全国の義務教育学校の取り組み

全国では、小学校高学年から後期課程の部活動に参加している学校で、中学3年生が引退した後に、小学6年生が参加している事例がありました。

○今後の検討内容について

中学校進学を見据えた場合、全国の事例を参考に中学3年生が引退した後に、小学6年生が参加する形が現実的との意見がありました。

今後は、小学6年生が部活動に参加する日を設定することや、6年生が参加した際に出てくるメリット・デメリットを洗い出し、今後の部活動の方向を考えて行くこととしました。

③中学校の教師による小学6年生の乗り入れ授業（算数）の実施について（別冊資料3）

中学校の数学の教員による、2校の小学6年生を対象とした「乗り入れ授業」を、算数の「比例と反比例」の学習内容で実施しました。

<稲越小学校の「乗り入れ授業」の様子（実施期間：10月26日から11月17日）>



<曾谷小学校の「乗り入れ授業」の様子（実施期間 11月24日から12月14日）>



○2校の小学校の児童の主な感想

<算数の授業について>

- ・授業の内容がわかりやすかった。
- ・こういうやり方もあるんだと思った。

ほとんどの児童が肯定的に答えていました。

<中学校の教員による授業について>

- ・中学校の授業が体験できてよかった。
- ・中学校への不安が無くなった。

中学校への進学不安の解消につながる児童もいました。

○授業を行った教員の感想

- ・小学校の学習内容を知ることで、中学校の学習内容とのつながりがわかった。
- ・中学校とは違い、じっくり時間をとって考えてもらったり、話し合い活動を取り入れられたりしたので、小学校では丁寧に学習が進められることがわかった。
- ・この経験を中学校の授業に生かしていきたい。

このことを踏まえ、次年度は別の教科等で小中の教員による相互指導や、乗り入れ授業を実施できるようにすることを、次年度のプロジェクト会議で検討することとしました。

④近隣校との連携について

これまで、プロジェクト会議で話し合われた内容を「プロジェクト会議だより」としてまとめ、東国分爽風学園と、近隣の小学校の保護者の方と教職員の方を対象に、情報提供をしてきました。次年度以降も小中一貫教育の取り組みを進めるにあたり、改めて近隣小学校との連携について協議をしました。

○プロジェクト会議で出された意見

- ・東国分爽風学園の3校に転入してくる児童生徒や、近隣の小学校から東国分中学校へ進学する児童に対して、不安感や疎外感を感じることを無いにすることを確認してきた。
- ・今まで以上に近隣校にも情報を発信し、一緒に取り組めることは積極的に声をかけ、実施できるようにする必要がある。

○近隣校との具体的な連携強化の具体案

- ・東国分中学校の生徒会主催の「中学校の生活について」の説明動画を、東国分爽風学園以外の近隣の小学校にも届けたいと考えている。
- ・合わせて、中学校の部活動体験についても、東国分中学校へ進学を予定している近隣校の小学生にも声をかけ、実施したいと考えている。基本的には、各部活動の見学をしてもらう中で、実際に体験できる部活動については体験をしてもらいたいと考えている。
- ・今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施することが困難だったため、次年度に日程等を調整し、実施していきたい。

今後も、近隣校との連携を図り、東国分爽風学園と一緒にできる内容について検討し、実施していくこととなりました。